

外来医療計画 検討内容報告書

| 項目名 |
|--------------------------|
| 夜間や休日等における地域の初期救急医療の提供体制 |

| 医療圏名 | 奄美保健医療圏 |
|------|---------|
|------|---------|

第7次保健医療計画(P404)に記載されている、下記の指標を把握した上で、1～3の項目の検討をお願いします。

- (指標1) 救急患者搬送数
- (指標2) 2次救急医療機関の数
- (指標3) 初期救急医療施設の数
- (指標4) 一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合

※指標1～3の数については、人口10万対の数値

1 検討すべき項目について

下記の項目の現状について検討を行い、該当する番号及びその番号を選択した理由も記載してください。

【選択番号】

- ①：不足している。喫緊の課題がある。
- ②：やや不足している。課題がある。
- ③：概ね充足している。喫緊の課題はない。
- ④：充足している。現時点において課題はない。

| | 検討項目 | 番号 (①～④) | その数字を選択した理由 |
|---|--|-------------|---|
| 1 | 休日昼間の体制について (在宅当番医体制等について) 【参考】 ・(指標2), (指標3) ・保健医療計画P245 ・各地域の医療連携計画該当ページ | ① | ・圏域の救急患者搬送数は、県と比較すると1.2倍、国と比較すると1.3倍と多い<指標1> ・圏域の2次救急医療機関の数は、県、国と比較すると少ない<指標2> ・圏域では、一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合が県と比較すると低い<指標4> |
| 2 | 夜間の体制について 【参考】 ・(指標2), (指標3) ・保健医療計画P245 ・各地域の医療連携計画該当ページ | ① | ・圏域の救急患者搬送数は、県と比較すると1.2倍、国と比較すると1.3倍と多い<指標1> ・圏域の2次救急医療機関の数は、県、国と比較すると少ない<指標2> ・圏域では、一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合が県と比較すると低い<指標4> |

| 検討項目 | 番号 (①~④) | その数字を選択した理由 |
|--|-------------|--|
| 3 対応不可の傷病の場合の協力体制について (重症救急患者への対応, 二次・三次救急との連携) 【参考】 ・ ・保健医療計画P245~P248 | | ※データなし |
| 4 救急専門医について (救急専門医の不足等への対策) | ② | ・主として従事する救急科の医師は, 奄美市に偏在している (厚生労働省; 平成 28 年医師・歯科医師・薬剤師調査; 主たる診療科別) <参考指標> |

2 「将来目指すべき姿」及び「その他の意見」について議論の場に出た内容を記載ください。

| 将来目指すべき姿, その他意見 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・不足する救急専門医の確保が必要 ・夜間の救急医療体制 (本島への搬送を含む) の確保が必要 ・心臓血管外科, 精神科等の特定診療科の対応体制が必要 ・ICTの活用 |

外来医療計画 検討内容報告書

| 項目名 |
|-----------|
| 在宅医療の提供体制 |

| | |
|------|---------|
| 医療圏名 | 奄美保健医療圏 |
|------|---------|

第7次保健医療計画（P410～P412）及び参考資料に記載されている、下記の指標について把握した上で、1～3の項目の検討をお願いします。

- （指標1）在宅療養支援病院・診療所数
- （指標2）退院支援を実施している診療所・病院数
- （指標3）退院時共同指導を実施している診療所・病院数
- （指標4）介護支援連携指導を実施している診療所・病院数
- （指標5）訪問診療を実施している診療所・病院数
- （指標6）往診を実施している診療所・病院数
- （指標7）在宅看取り（ターミナルケア）を実施している診療所・病院数

※指標1～7の数については、人口10万対の数値

1 検討すべき項目について

下記の項目の現状について検討を行い、該当する番号及びその番号を選択した理由も記載してください。

【選択番号】

- ①：不足している。喫緊の課題がある。
- ②：やや不足している。課題がある。
- ③：概ね充足している。喫緊の課題はない。
- ④：充足している。現時点において課題はない。

| | 検討項目 | 番号 (①～④) | その数字を選択した理由 |
|---|--|-------------|---|
| 1 | <p><u>急変時における体制について</u> ・在宅療養者の病状が急変した際の一時受け入れについて</p> <p>【参考】 ・保健医療計画P298～P300 ・各地域の医療連携計画該当ページ</p> | / | ※データなし |
| 2 | <p><u>急変時における体制について</u> ・24時間対応可能な施設の有無について</p> <p>【参考】 ・保健医療計画P298～P300 ・各地域の医療連携計画該当ページ</p> | / | ※データなし |
| 3 | <p><u>終末期（看取り）における体制について</u></p> <p>【参考】 ・（指標6）、（指標7） ・保健医療計画301～ ・各地域の医療連携計画該当ページ</p> | ② | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の往診を実施している診療所・病院数は国より多く、県より少ない<指標6> ・圏域の在宅看取り（ターミナルケア）を実施している診療所・病院数は、国、県と比較すると多いが、当該診療所・病院のない有人島がある<指標7> |

| | 検討項目 | 番号 (①～④) | その数字を選択した理由 |
|---|--|-------------|---|
| 4 | 退院支援について 【参考】 ・(指標 2), (指標 3) ・保健医療計画P298～P300 ・各地域の医療連携計画該当ページ | ② | ・退院支援を行っている医療機関は、奄美市に集中しており偏在が見られる<指標 2> ・退院支援を実施している診療所・病院のない有人島がある<指標 2> |
| 5 | 日常の療養支援について (多職種連携・緩和ケア・家族支援等) ・(指標 1), (指標 4), (指標 5), (指標 6) ・保健医療計画P298～P300 ・各地域の医療連携計画該当ページ | ② | ・圏域の訪問診療を実施している診療所・病院数は、県・国と比較すると多い<指標 5> ・圏域の往診を実施している診療所・病院数は、国より多く、県より少ない<指標 6> ・在宅療養支援病院, 在宅療養支援診療所届出施設数は県・国より多いが、当該病院, 診療所のない有人島がある<指標 1> ・介護支援連携指導を実施している診療所・病院数は国より多いが、当該診療所, 病院のない有人島がある<指標 4> |
| 6 | 在宅におけるリハビリテーション支援について 【参考】 ・保健医療計画P306～ ・各地域の医療連携計画該当ページ | | ※データなし |

2 「将来目指すべき姿」及び「その他の意見」について議論の場が出た内容を記載ください。

| 将来目指すべき姿, その他意見 |
|--|
| ・終末期(看取り)を充実するために、複数医での対応が必要 ・往診, 在宅看取りを行う医療機関や医師の偏在が課題 |

| 項目名 |
|-----------------------------|
| 産業医・学校医・予防接種等の公衆衛生に係る医療提供体制 |

| 医療圏名 | 奄美保健医療圏 |
|------|---------|
|------|---------|

1 下記について検討結果を記載してください

①産業医について

| 番号 | 現状・課題等 |
|----|--|
| ① | ・奄美群島内における事業所のうち、健康診断の結果について医師からの意見聴取を実施した割合は1.8%程度（大島支庁健康企画課調べ）と少ない＜参考指標 1＞ |

| | | | | | | | |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|
| 1 | 不足している | 2 | やや不足している | 3 | 概ね充足している | 4 | 充足している |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|

②学校医について（学校医の高齢化・業務量の増大・絶対数の不足 等）

| 番号 | 現状・課題等 |
|----|---|
| ② | ・複数の学校を兼務している学校医が多く、学校保健委員会への出席が難しい＜参考指標 2＞ |

| | | | | | | | |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|
| 1 | 不足している | 2 | やや不足している | 3 | 概ね充足している | 4 | 充足している |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|

③予防接種について（予防接種を実施できる体制を有する病院・診療所 等）

| 番号 | 現状・課題等 |
|----|--|
| ② | ・圏域の小児科医師数は、国、県よりも多い（厚生労働省；平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査；診療科（複数回答）別）＜参考指標 3＞ ・個別接種となっており、小児への定期予防接種については、小児科医が勤務する接種日に希望者が集中している |

| | | | | | | | |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|
| 1 | 不足している | 2 | やや不足している | 3 | 概ね充足している | 4 | 充足している |
|---|--------|---|----------|---|----------|---|--------|

2 公衆衛生に係る医療提供体制将来目指すべき姿について、検討の上、記載をお願いします。

| 将来目指すべき姿、その他意見 |
|---|
| <p>①産業医について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較的充足しており、その活用を高める必要がある ・産業医であるが仕事の依頼を受けたことはない ・産業医取得しているが、企業の産業医業務は不可能な状況である ・産業医は充足しつつあるが、再研修、見学の機会が少なく、対応が困難 <p>②学校医について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医の依頼を受けたことはない ・小中高全ての学校医を担当している ・不足している。学校医業務に対する知識が乏しく日医でも学校医養成に取り組むべきと考えます <p>③予防接種について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健や予防接種等多岐にわたり、1医療機関に対する負担が多い。小児科医数のデータについて報告に誤りがあると考え ・小児科医が常勤していない医療機関が奄美群島では多い <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生は保健所に丸投げで知識が乏しい |

| 項目名 |
|----------------------------------|
| その他の地域医療として対策が必要と考えられる外来医療機能について |

| 医療圏名 | 奄美保健医療圏 |
|------|---------|
|------|---------|

1 その他地域医療として対策が必要と考えられる外来医療機能がございますか。

【選択番号】
 ①：不足している。喫緊の課題がある。
 ②：やや不足している。課題がある。

| 検討項目 | | 番号 (①~②) | その数字を選択した理由 |
|------|--------|-------------|-------------------|
| 1 | 二次医療機関 | ① | ・心臓血管外科医がこの地域では不在 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

2 「将来目指すべき姿」及び「その他の意見」について議論の場で出た内容を記載ください。

| |
|---|
| 将来目指すべき姿, その他意見 |
| ・特定診療科の医師・専門医の充足（心臓血管外科, 産婦人科, 耳鼻科, 精神科等） |